

到達度凡例	
平成24年度比	矢印
目標値超	↑
上	↗
維持	→
下	↘

第2次食の安全安心・食育推進計画成果指標一覧（市民アンケート速報値）

議題2-2

～食育推進分野～

*H29基準値

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値	到達度 (H24比)	評価	
①	食育に関心がある市民の割合	73.4%	69.1%	75.8%	90%	↗	H24年度比で2.4%関心は上がったが、目標値（90%）には達していない。	
②	「朝食又は夕食を家族と一緒に食べる共食の回数の増加」 ※1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	10回	10回	9回	さらに増加	↘	H24年度比で平均1回の減少となり、ほぼ横ばいである。	
③ (変更)	1週間あたりの朝食について ※幼児は「毎日食べる割合」 ※他は「ほとんど食べない」と答えた割合	幼児	95.3%	96.2%	96.9%	100%	↗	H24年度比の朝食欠食率は、小学5年生、中学2年生が上がり、その他の世代では下がった。しかし、いずれの世代においても目標値には達していない。特に欠食率が高いのはH24年度同様20代男性、30代男性の数値である。今後の小中学生の欠食率を下げるためにも、今後親世代となる若い世代への啓発が必要と考え、第3次計画では若者世代の数値を再掲して注視する予定である。
		小学5年生	0.9%	0.9%	1.7%	0%	↘	
		中学2年生	2.0%	2.6%	4.2%	0%	↘	
		20歳代男性	29.4%	22.6%	20.0%	15%	↗	
		30歳代男性	29.4%	16.2%	26.5%	15%	↗	
		65歳以上	3.7%	1.8%	3.3%	0%	↗	
④	体験型食育活動の取り組み（実施園数/全施設数） 【保育園】	公立	100%	100%	*100%	100%	↑	公立保育園においては継続して全ての園で実施されている。私立保育園においては、割合は下がっているが、これは私立保育園総数が増えていることが影響しており、実施している保育園数としては増加している。
		私立	90.4%	94.8%	*87.2%		↘	
⑤	体験型食育活動の取り組み（実施園数/全施設数） 【幼稚園】	公立	100%	100%	*100%	100%	↑	幼稚園においては食育活動の取組みについて継続して全ての園で実施されている。
		私立	100%	100%	*100%		↑	
⑥※	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	97.0%	98.5%	*94.0%	100%	↘	未実施との回答である学校(8校)においても、毎月家庭へのお便りは配布しているが、自校の取組として、啓発を行っていないと捉えられたようである。	
⑦	企業、大学等での食育に関する講座の開催（件数）	19件	40件	*20件	30件	↗	H24年度比では1回増加したが、目標値（30件）には達していない。講座の受け入れ先の確保状況により開催数のばらつきがあるが、H27年度は目標達成しているため、今後も継続して企業等への啓発する必要がある。	
⑧	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	69.0%	67.9%	65.2%	80%	↘	H24年度比で3.8%下がった。年々低下している傾向がある。	
⑨ (変更)	内臓脂肪症候群の予防や改善のために適切な食事、定期的な運動、定期的な体重測定を継続的に実践している市民の割合	27.7%	32.1%	33.5%	50%	↗	H24年度比で5.8%上がったが、目標値には達していない。第2次計画では内臓脂肪症候群を予防するものに限定していたが、第3次計画では国の「第3次食育推進基本計画」の指標に合わせ、「生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践している市民の割合」に表現を変更する予定である。	
⑩	食育の推進に関するボランティア数	1,208人	1,467人	*1,536人	1,600人	↗	H24年度比で328人増加したが、目標値（1,600人）には達していない。	
⑪ (廃止)	食生活面で「くまもとらしさ」を感じたことのある市民の割合	52.9%	57.1%	53.6%	65%	↗	H24年度比で0.7%上がったが目標値（65%）には達していない。第3次計画では、「進んで地元農産物を購入する市民の割合」「家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合」「熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合」の3つの指標をもってこの指標を見ていくこととする予定である。	
⑫	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	37.6%	68.4%	*62.6%	60%	↑	H24年度比で25%上がり、目標値（60%）を達成した。H27年度比で5.8%下がったが、ネットワーク登録団体数の増加に伴い、連携活動をおこなった団体数は増加している。	
⑬ (変更)	農林漁業体験を経験した市民の割合の増加	37.7%	27.5%	29.6%	50%	↘	H24年度比で8.1%下がった。これは、「年に数回程度の体験経験がある市民」の割合の数値であるが、第3次計画ではアンケートの設問を修正し、「これまで農林業体験の経験がある市民」の割合の数値に変更する予定である。	
⑭	進んで地元農産物を購入する市民の割合	69.4%	68.3%	71.2%	80%	↗	H24年度比で1.8%上がったが、目標値（80%）には達していない。	
⑮ (変更)	学校給食における地元農産物を使用する品目数	39品目	36品目	*33品目	45品目	↘	H24年度より6品目減り、年々減少している。これは、品目数で数えた場合、流通量の不足や天候の影響等の理由から地元農産物を使用できない場合があるためである。このため、第3次計画では「品目数」ではなく「使用割合」での指標に変更する予定である。	
⑯	家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	49.2%	45.5%	68.6%	70%	↗	H24年度比で19.4%上がったが、目標値（70%）には達していない。	
⑰	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	69.9%	66.9%	73.8%	75%	↗	H24年度比で3.9%上がったが、目標値（75%）には達していない。	
⑱	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.8%	81.8%	79.0%	85%	↘	H24年度比で1.8%下がり、ほぼ横ばいである。	

※参考：⑥授業参観・懇談会で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合
《旧成果指標および目標》H24（48.5%）H27（46.7%）目標値H30（60%）